

# 電車GO! でストレス たまるんです

ふちんかん

って、なんでだろうねえ。以前は電車の運転さえできれば Happy!だと思っていたのだが。みんなはそんなことない？

ずばり。このゲームは自由度が足りないのだ。わしは自由に運転したいのだ。ダイヤや停車位置の遵守なんてクソ喰らえ！なのだ。そういう意味では、自動車レースのゲームなんかは、ある程度自由にできるわな。でもわしは電車でそれがしたいのだー。先行列車が居ようが駅構内だろうが、直線区間では全速でぶっ飛ばしたいし、どこであろうと警笛は鳴らしまくりたいし、逆に風光明媚な保津峡では、ゆっくりと景色を楽しみたい。

しかし、残念ながらそういうシステムにはなっていない。鉄道ファンには規則でがんじがらめに縛られるのがスキ！もっと縛って～、って人が多いのだろうか。

そこでささやかな抵抗を考えてみた。

それは「ゆっくり走る」ことだ。

山陰本線なら、馬堀までは早着して時間をためて、嵯峨嵐山までを超ゆっくり走るのだ。保津川の深い緑色の川面と岩肌とのコントラストを楽しむ。トンネル内の暗さ、そして出口の明るさを楽しむ。

10km/h 程度の速度なら気分は「廃線を歩こう」だ。

OLのねーちゃんが「遅いわねえ」と言っても無視。

「時間に遅れちゃうう～」そんなこと知らん。

東海道本線なら、雨の中、傘もささずにホームに立ちつくす人はどんな表情してるんやろか、眺めてみたい。583 系のヘッドマークには何と書かれているのか確かめたい。対向の221 系運転手と世間話もしてみたい。速度を0にすれば可能なのだ。

そして究極は「淀川で電車を止めちゃう」だ。しばらくすると「列車を進めてください」の警告が出るが、当然のように無視。

「遅いわねえ」「時間に遅れちゃうう～」

でも乗客は外に出ることもできず。

わーはっはっはっはっ！

